

2024年1月31日

報道関係者各位

アイパークインスティテュート株式会社

ライフサイエンス産学連携コンソーシアム「iNexS」を設立 -アカデミアシーズを企業ニーズに効果的にマッチングし社会実装を目指す-

- 企業のニーズと全国アカデミアの有望シーズのマッチングから、シーズの社会実装を支援
- 湘南アイパークの入居・メンバー企業^{※1}、およびライフサイエンス領域に強みを持つ全国のアカデミア・団体から、第1期の参加者を募集予定

アイパークインスティテュート株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：藤本利夫、以下「アイパークインスティテュート」）は、本日、ライフサイエンス分野における産学連携コンソーシアム「iNexS」^{※2}を設立しました。全国のアカデミアから有望なシーズ^{※3}を広く募り、湘南ヘルスイノベーションパーク（以下、「湘南アイパーク」）の入居・メンバー企業のニーズと効果的にマッチングさせ、シーズの社会実装の可能性を広げることを目指します。

※1 iNexSに参加する企業は、湘南アイパークへ入居している、またはメンバーシップ会員であることが条件となります。

湘南アイパークへの入居に、またはメンバーシップへの入会については[こちら](#)をご覧ください。

※2 「Needs x Seeds」（ニーズとシーズを効果的にマッチングする場）と「Next Stage」（シーズを次のステージへ移行させる場）という思いを込めた名称です。

※3 シーズ：事業化によって新しい製品やサービスを生む元となる物質、技術、ノウハウなどのこと。ライフサイエンスにおいては、新しい薬や治療法のもととなる、新規の化合物や技術などを指す。

iNexS

Needs × Seeds

ニーズとシーズのマッチングを進める場

Next Stage

シーズを次のステージ（社会実装）へ移行させる場

【iNexS 設立の背景と活動について】

日本には、世界的に評価されるライフサイエンスの基礎研究が多くあり、全国のアカデミアからは、有望な研究シーズが生まれています。しかし、実用化を完遂できず埋もれたままのシーズも、まだ多くあると言われています。これらの有望なシーズが実用化のステージに進むには、ビジネスノウハウを持つ企業と日々研究を行うアカデミアが、双方の価値観や社会的意義に対する理解を深め、更なる連携の強化が必要です。こうした課題の実態を深掘りするため、アイパークインスティテュートではこれまでに複数回、企業、アカデミアの双方にヒアリングやワークショップを実施しました。その結果から、本コンソーシアムでは、まず「企業のニーズとアカデミアがもつシーズのマッチング」に焦点をあて、企業と研究者が連携し、互いの強みを最大限に活かす環境を整えるために、以下の3つの軸で活動を実施します。

Action.1



企業ニーズを起点
とするシーズマッチング

【企業ニーズの本質をアカデミアに伝える】

- ・企業がニーズを丁寧に伝える説明会や個別相談会などを開催
- ・企業がニーズを記載する共通テンプレートを用意
(iNexS参画アカデミアの産学連携担当者が自由に閲覧可能)

Action.2



アカデミアのシーズを起点
とするシーズマッチング

【アカデミアシーズの魅力を企業に伝える】

- ・企業からの希望が多いアカデミアシーズの発表会を開催
- ・アカデミアがシーズを記載する共通テンプレートを用意

Action.3



産学間の連携を深める
各種イベントの開催

【顔の見える交流による相互理解】

- ・説明会など対面イベントの実施

【第1期会員募集について】

2024年4月から2025年1月までを第1期とし、企業ニーズとアカデミアシーズのマッチング機会の提供、シーズの社会実装支援を実施いたします。第1期の企業、アカデミアの会員の募集につきましては、近日中に、ニュースリリース及びiNexS公式サイトにてお知らせいたします。

湘南アイパークは開所以来、「革新的なアイデアの社会実装」をビジョンに掲げ、現在ライフサイエンスに関わる多様なプレーヤーが2000人規模で集積しています。本コンソーシアムを通じて、これまで以上に、研究成果の社会実装を願う多くのアカデミア研究者が一堂に会し、日本のアカデミア発のシーズが、湘南アイパークのエコシステム内でイノベーションを生み出すことを目指していきます。

アイパークインスティテュート株式会社について

アイパークインスティテュート株式会社は、産業ファンド投資法人、武田薬品工業株式会社、三菱商事株式会社を主要株主として、2023年4月に事業を開始しました。2018年より武田薬品が担っていた湘南ヘルスイノベーションパーク(神奈川県藤沢市、略称：湘南アイパーク)の運営事業を2023年に承継し、施設の運営・管理のほか、イノベーション創出促進、技術交流・研究連携促進など、ライフサイエンスエコシステムの構築・活性化のための事業を行っています。当社に関する詳しい説明は [こちら](#) をご覧ください。

湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、2018年4月に武田薬品工業株式会社が自社研究所を外部に開放して誕生した、日本初の製薬企業発サイエンスパークです。現在は武田薬品工業株式会社から独立したアイパークインスティテュート株式会社が運営を行っており、幅広い業種や規模の産官学が結集してヘルスイノベーションを加速する場となることを目指しています。現在、製薬企業のみならず、次世代医療、細胞農業、AI、行政などの企業・団体が集積し、約170社、2000人以上（2024年1月現在）のエコシステムを形成しています。

公式HPは[こちら](#)

湘南アイパーク最新の入居/メンバー企業・団体は[こちら](#)

公式 SNS : [YouTube](#) / [Facebook](#) / [Twitter](#) / [LinkedIn](#)

本件に関するお問い合わせ先：

アイパークインスティテュート株式会社 コミュニケーション

Mail : iPi.PR@shonan-ipark.com